

セルフマネジメント支援論

【担当者名】 高木 由希 u_uta@hoku-iryo-u.ac.jp 唐津 ふさ(デ)

【概要】

セルフマネジメントのための主要概念を学び、病と共に生きる対象者が治療・社会生活・自己の感情を含めマネジメントする方法を身につけるための支援について学ぶ。また、代表的な疾患の病態生理や治療の知識を活かし、具体的なセルフマネジメント支援について学ぶ。

【学修目標】

1. セルフマネジメントの概要と構成要素について説明できる。
2. セルフマネジメントの重要性を理解し、セルフマネジメント支援における看護師の役割を理解できる。
3. 成人期に特徴的な疾患の進行・急性増悪を予防するための療養法、ならびに必要なセルフマネジメントを促すための具体的看護援助について理解できる。
4. 療養法を取り入れ生活を再構築していくために必要なセルフマネジメントを促すための具体的看護援助について理解できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	セルフマネジメント支援とは	授業概要 患者教育の変遷とセルフマネジメントの概念 症状マネジメント・徴候マネジメント・ストレスマネジメント セルフマネジメント支援における看護師の役割	高木
2	代謝性疾患患者のセルフマネジメント支援	糖尿病患者のセルフマネジメント支援 その1	高木
3	代謝性疾患患者のセルフマネジメント支援	糖尿病患者のセルフマネジメント支援 その2	高木
4	心疾患患者のセルフマネジメント支援	慢性心不全の進行と急性増悪を予防するためのセルフマネジメント支援	高木
5	心疾患患者のセルフマネジメント支援	埋込み型心臓デバイスを使用する患者のセルフマネジメント支援	高木
6	膠原病患者のセルフマネジメント支援	全身性エリテマトーデス患者のセルフマネジメント支援 その1 急性期をコントロールするために	唐津
7	膠原病患者のセルフマネジメント支援	全身性エリテマトーデス患者のセルフマネジメント支援 その2 寛解を維持するために	唐津
8	呼吸器疾患患者のセルフマネジメント支援	慢性閉塞性肺疾患患者のセルフマネジメント支援 その1 増悪を防ぎ、寛解を維持するために	唐津
9	呼吸器疾患患者のセルフマネジメント支援	慢性閉塞性肺疾患患者のセルフマネジメント支援 その2 呼吸不全の状態と共に生きるために	唐津
10	肝疾患患者のセルフマネジメント支援	長期経過を辿る肝炎患者のセルフマネジメント支援 その1 急性肝炎から慢性肝炎へ	高木
11	肝疾患患者のセルフマネジメント支援	長期経過を辿る肝炎患者のセルフマネジメント支援 その2 代償性肝硬変から非代償性肝硬変へ	高木
12	肝疾患患者のセルフマネジメント支援	長期経過を辿る肝炎患者のセルフマネジメント支援 その3 肝硬変の進行と肝がん発症	高木
13	腎疾患患者のセルフマネジメント支援	慢性腎臓病患者のセルフマネジメント支援 その1 代償期から非代償期	高木
14	腎疾患患者のセルフマネジメント支援	慢性腎臓病患者のセルフマネジメント支援 その2 末期における腎代替療法導入前後	高木
15	非がん性慢性臓器不全患者の人生の最終段階に向けたセルフマネジメント支援	非がん性慢性臓器不全患者のエンドオブライフの特徴 Advance care planning に向けたアプローチと患者と家族へのセルフマネジメント支援	高木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート：20%、定期試験（筆記試験）：80%

課題のフィードバックは、Google classroom上で行う。

試験結果のフィードバックは、成績確定後に個別面談で対応する。

【教科書】

成人看護学 慢性期看護 改訂第3版 南江堂

【参考書】

成人看護学 セルフマネジメント 2022版 メディカ出版2022

糖尿病患者のセルフマネジメント教育 エンパワメントと自己効力 メディカ出版2022

看護の為に臨床病態学 改訂4版 南山堂2022

その他、必要に応じて紹介する

【備考】

Google classroomを活用し、予習復習に関連する資料の提示・課題提示を行う。

Google Foamを活用し、講義時間内に学生自身の考えを深める問いかけを行う。

【学修の準備】

各回の授業内容に関する疾患について既習の科目で学んだ解剖生理、病態に関する知識を事前に整理する。また、授業内容の復習を兼ねた自己学習、ならびに課題については適宜授業の中で提示する。予習復習に必要な時間は各回1時間である。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2:看護専門職に必要な知識・技術を習得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身に付けている。

【実務経験】

高木由希（看護師） 唐津ふさ（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験で培った知識、技術、態度を活かし、医学的知識と関連付けて長期療養する対象者を理解する視点及び対象者のQOLを維持・向上する上で欠かせないセルフマネジメント支援に必要なアプローチ方法を講義する

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している